

上月りようすけニュース No.15

参議院議員上月良祐です。大変お世話になっております。

この秋の臨時国会から、党副幹事長、内閣委員会理事を拝命しました。また、引き続き党農産物輸出促進対策委員長を務めます。9月初旬に、党フラワー産業議員連盟事務局長として、オランダで開催されている「アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）」のジャパンデイ行事に出席するとともに、先進的な園芸施設の視察や現地の輸入事業者との意見交換などを行ってきましたので、ご報告いたします。



フロリアード 2022 ジャパンデイに出席

10年に一度、オランダで開催される国際園芸博覧会をフロリアードと呼びます。ジャパンデイの歓迎行事と公式式典等に出席し、展示館を回りました。会場は、サステナビリティやSDGs一色といった感じです。

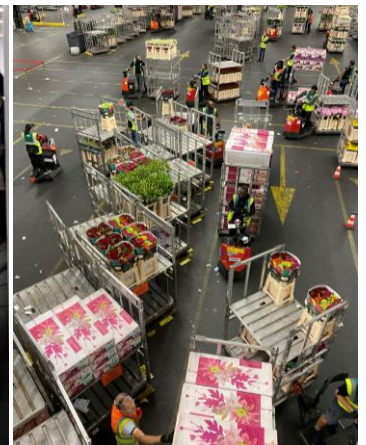
日本館は、里山の風景や花の魅力を伝える藁葺き屋根の古民家風の館で、2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会のPRも行われていました。オランダ館では、国の抱える課題を将来どのような方法で解決していくかを展示で表現。展示物の95%がオランダ産のバイオベース材料で構成されていました。

現地で日本からの農水産物輸入に取り組む方々と意見交換も行いました。「稼げる輸出」に向けて官民一体となった取組みを加速していきます。



アールスメール花市場視察

総敷地面積 130 万㎡を有し、世界の花取引の約 6 割を占めるという世界最大規模の花市場を視察。IT インフラにより、オンラインで世界中の生産者とバイヤーがセリを行い、短いリードタイムで商品を顧客に届ける「オンタイム・デリバリー」を可能としています。世界一であり続けるための懸命な努力を垣間見させていただきました。



ワーヘニンゲン大学フードバレー視察

世界の様々な研究機関との連携強化を図るワーヘニンゲン大学を中心とした周囲 30km 圏内には、数多くの食品関連企業、研究機関が集積した「フードバレー（食品関連産業クラスター）」が形成されています。オランダは世界第2位の農産物輸出国です。生産技術のイノベーションやロジスティクスを強みとして競争力を確保している点に学ぶところが多く、この中核を担うワーヘニンゲン大学への待望の訪問でした。

原油や生産資材の高騰、人手不足など様々な課題がある中で、SDGsの観点から農業のイノベーション戦略をどう考えているか、持続可能な農業生産や食品製造を進める上で鍵となる技術について、学長や施設の責任者、フードバレー財団、現地で活躍されているクボタ、不二製油、キッコーマンの皆さんと意見交換を行いました。



トマトワールド視察



ウエストランド市にあるトマトワールドは、トマト生産の最新技術の実証・展示と40品種以上の栽培試験が行われています。日系企業との取組みやICTによる高度な環境制御技術などを視察しました。土を使わず「ロックウール」によりトマトを栽培し、温室内のセンサー及びカメラが24時間体制でデータを収集し、コンピュータが温室環境をコントロール。さらに、収穫の全自動ロボット化にチャレンジしていました。ミニトマトがおいしかったのは衝撃でした。

オランダ出張を振り返って ～「動かなければ何も得られない」を痛感～

ロシア上空を飛行できず、片道15時間の長旅でタイトなスケジュールでしたが、データと技術を武器に農業を展開するオランダから多くの示唆を得ました。燃料価格高騰で花の生産をやめる農家もあり、人手不足も含め課題は世界共通です。

世界最先端を見て、聴いて、我が国にどう取り入れていくべきか真剣に考える。「結局、日本のことは日本で考えて自分たちでやるしかない」と感じました。先進地をそのまま真似できるわけではありません。伸びゆく農産物輸出をどう後押しし、加速していくか、学びを消化しつつしっかり考え、政策面で実践していきます。



フラワー産業議員連盟
江藤会長、宮下幹事長と

上月りょうすけプロフィール

昭和37年生まれ／昭和62年 東京大学法学部卒・自治省入省／平成17年～24年 茨城県総務部長、副知事
平成25年 参議院議員初当選／平成29年 農林水産大臣政務官／令和元年 参議院議員再選、参議院自民党副幹事長
令和2年 農林水産委員長／令和4年8月～ 自民党副幹事長

空港にて

令和4年10月発行 討議資料